

小野修一の経営お役立ちコラム 第3回

●経営革新における定量的目標設定の重要性

経営革新では、現状分析に基づいて、自社のあるべき姿を実現するために達成すべき重要課題を明らかにし、その課題を達成するための方策を策定し、実行計画を立て実行します。

その時に重要なことが、達成すべき重要課題が実現された時の状態を定量的な目標として設定することです。

定量的目標設定の意義はいくつかあります。

- 1) 目指すべき経営革新の目標を数値として明確に示すことで、経営者から従業員まで同じ方向・目標に向かって経営革新に取り組みます。
- 2) 目標を設定する過程で、現状の問題、業界や市場の状況、競争優位の獲得度合いなどについて、関係者で調査・議論でき、合意形成が図れます。
- 3) 策定した方策を実行した後で、目標に対する実績を測定・評価し、必要であれば追加の方策を講じることで、経営革新の実現に近づきます。

定量的目標設定に際して気を付けるべきこととして、次のようなことが挙げられます。

- 1) 現在の状況、経営資源の状態から見て、実現可能な目標であること。
- 2) モチベーションを高くするために、実現可能な範囲で少し高めの目標であること。
- 3) 業界や市場を見たとき、競争力が生まれる目標であること。
- 4) すべての関係者が合意した目標であること。

経営革新の取組みにおいて、定量的目標設定に心がけましょう。